

各位

東京都新宿区新宿二丁目1番11号
株式会社アイフリークモバイル
代表取締役社長 上原 彩美
(コード番号：3845 JASDAQ)
問い合わせ先 管理部長 三宅 公崇
E-mail ir3845@i-freek.co.jp
U R L <https://www.i-freek.co.jp/>

営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上並びに

2021年3月期の通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年3月期において、営業外収益、営業外費用及び特別損失を計上することについて決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

また、2020年6月12日に公表しました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期連結業績予想と本日公表の実績数値、及び通期個別業績数値と前期実績との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上

1) 助成金収入

当第4四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症に係る特例措置に基づいた雇用調整助成金及びテレワーク助成金の入金を確認いたしましたので、17百万円を営業外収益に計上しました。その結果、当連結会計年度の助成金は、126百万円となりました。

2) 貸倒引当金繰入額

当社元連結子会社であった株式会社ファンレゴに対して有する貸付金について、同社の財政状態等を勘案した結果、当該貸付金に対する貸倒引当金繰入額24百万円を営業外費用として計上しました。

3) 固定資産減損損失

事業環境の変化に伴う収益性の低下等により、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、15百万円を特別損失として計上しました。

4) のれん減損損失

当社は、2020年1月1日付で、リアルタイムメディア株式会社及びリアリゼーション株式会社を完全子会社化し、当社子会社である株式会社アイフリークスマイルズは2020年3月1日付でリアル

タイムメディア株式会社を吸収合併いたしました。

このたび、新型コロナウイルス感染症拡大等の外部環境の悪化を踏まえ、今後の計画を見直した結果、リアルタイムメディア株式会社及びリアリゼーション株式会社の買収時に想定されていた収益計画を下回っているため、両社に係るのれんの減損損失として79百万円を特別損失として計上しました。

5) 事務所移転費用

オフィス最適化を図るため事業拠点の統廃合としての原状回復費用、引越費用、二重家賃及びその他費用として、6百万円を特別損失として計上しました。

6) 訴訟損失引当金繰入額

当社が再委託先としてシステム開発を受注している案件につき、委託元である企業が元請企業から損害賠償請求訴訟を提起されており（当社は補助参加人として委託元企業側に参加）、当該訴訟の判決が確定した場合に備えるため、合理的に算出した金額を見積もり、訴訟損失引当金繰入額として、10百万円を特別損失として計上しました。

2. 2021年3月期通期連結業績予想と実績との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想（A）	百万円 3,881	百万円 12	百万円 11	百万円 8	円銭 0.47
今期実績（B）	3,090	△151	13	△73	△4.25
増減額（B-A）	△791	△163	2	△81	—
増減率（％）	△20.4%	—	18.2%	—	—
（参考）前期実績 （2020年3月期）	1,666	△235	△209	△214	△13.20

3. 2021年3月期通期個別業績数値と前期実績との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A） （2020年3月期）	百万円 881	百万円 △248	百万円 △219	百万円 △198	円銭 △12.16
今期実績（B）	1,226	△48	48	△39	△2.30
増減額（B-A）	345	200	267	159	9.86
増減率（％）	39.2%	—	—	—	—

4. 差異の理由

連結業績予想につきましては、第1四半期連結会計期間における、緊急事態宣言発令による顧客企業の営業活動の自粛に伴う受注案件の減少による収益面への影響を第2四半期連結会計期間以降において挽回出来なかった事、第3四半期連結会計期間において、当社孫会社であった株式会社ファンレボが当社連結子会社の範囲から除外されたことに伴い当該会計期間以降に見込んでいた売上高が達成出来なかった事、及び上記1. で記載した通り営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上に伴い前回公表予想に差異が発生いたしました。なお、株式会社ファンレボは収益面の悪化の点より当社の連結子会社の範囲から除外したものであるため、同社が当社の来期連結業績へ与える影響はございません。

詳細は、本日公表の2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)をご参照ください。

個別業績数値につきましては、チャットにウォレット機能を搭載したアプリ「Challet」のビジネス向けコミュニケーションサービス「決裁承認チャット」に新機能「Chat Sheet(チャットシート)」の提供を開始した事、及び2021年2月1日に実施いたしました株式会社アイフリークGAMESの吸収合併により、増収増益となりました。

以上